

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分)

交付申請時：「明日のおうみ女性・元気  
 応現プロジェクト」  
 ⇒訂正「滋賀の女性・元気・応援プロ  
 ジェクト」

1. 事業名	滋賀の女性・元気・応援プロジェクト
2. 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 事業の趣旨・目的	<p>「滋賀の女性・元気・応援プロジェクト」は、本県がこれまで重点的に取り組んできた、女性の労働力率のM字カーブの解消と労働力率のさらなる向上、管理職・役員登用の促進、起業、在宅ワークなどの多様な活躍支援、デジタル人材の育成、そして働く場における女性の活躍のための企業の環境整備を、さらに強化するもの。加えて、就業に関する困難や家庭内の問題等により孤独を感じ社会的に孤立し不安を抱えている女性、必要な支援が届いていない女性に対し、社会とのつながりを回復できるよう支援する。</p> <p>本プロジェクトでは、まず、働く女性が抱える各課題に応じた取組の実施により、女性自身の資質と意欲の向上を図り、企業における女性の継続就労から、管理職、ひいては役員までのステップアップを切れ目なく支援していくことを目指す。</p> <p>また、女性の多様な活躍を支援するため、起業などについて、ノウハウの提供だけでなく、ネットワークづくり等、多方面からの支援を実施する。それらに加え、様々な事情により企業への就職が難しい女性とそのキャリアを埋もれさせないように、在宅ワークといった多様な働き方が選択できるようその普及に取り組み、あらゆる場面での女性の活躍を後押ししていく。さらに、孤独や不安で悩みを抱える女性に対しては、居場所の提供等を行うことで、必要な行政等の支援につながるよう支援する。</p> <p>本プロジェクトはこうした一連の取組により、働く場における女性の希望が実現するとともに、埋もれている女性の能力が発揮され、多様な価値観の中で女性活躍を推進していくこと、ならびに困難や不安を抱える女性の社会とのつながりを守ることで、女性が地域で生きがいややりがいを発見し、ひいては本県の地域・経済が活性化するという好循環を生み出していくことを目的とする。</p>
4. 事業内容	<p>本県において、働く場における女性の活躍を進めるうえで課題となっている、女性の継続就労および管理職・役員へのキャリアアップに対し、女性自身の意識改革を支援し、起業・就農といった多様な働き方で活躍する女性を支援するとともに、多様な価値観の中で、女性自身の個性や能力を十分に発揮できるよう、職種や仕事について考える機会を提供する。また、困難や不安を抱える女性が社会とのつながりを取り戻せるよう寄り添った支援を行い、女性が必要とする支援につなげる。なお、事業の実施にあたっては、多様な働き方の実現やデジタル人材育成の観点から、オンライン開催や動画の活用などデジタルスキルの習得にもつながる実施方法を工夫・検討する。</p> <p>1 女性の多様な活躍支援</p> <p>(1) 働く場における女性活躍推進事業</p> <p>①明日のおうみ女性リーダー育成プロジェクト          女性管理職登用を進めるカギとなる企業トップ層の意識改革を進めるとともに、女性管理職およびその予備層のマネジメント力等のスキルアップを図ることで、経営陣側と女性自身の両側面から女性人材の登用に向けアプローチを行う。</p> <p>②働く女性のハッピー・キャリアセミナー          企業の啓発だけでなく、これまで阻害されていた女性自身の能力・意欲向上への支援を同時に行っていく必要があることから、企業で働く女性を対象に、資質向上および意欲高揚のためのセミナーを開催することにより、本県における女性の活躍推進を図る。</p> <p>(2) 北の近江・女性活躍加速化事業          県北部地域の人事担当者向けの研修を行い、就労継続や正規雇用を目指し、職場の女性活躍を推進するための意識改革につなげる。また、税・社会保障制度についての理解を深めてもらう。</p> <p>(3) しがの農業「女性活躍」応援事業          地域のリーダーとなり得る女性農業経営者等を対象に経営塾を開催し、女性農業者の活躍を促進することで農業経営の発展を図り、さらには農村における男女共同参画の実現を目指す。</p> <p>(4) 女性の起業トータルサポート事業          兼業、副業も含め、自身の得意分野をいかして起業したい女性や社会課題を解決する起業などにチャレンジしたいと考える女性の起業を他機関とも連携して一貫して応援する。</p> <p>2 デジタル人材・起業家育成事業</p> <p>(1) 北の近江・女性IT基礎スキル向上事業          県北部地域の女性向けのIT基礎スキルを学ぶ講座を開催し、講座終了後に個別相談や専門窓口の紹介を行い、就労への一歩を踏み出すことを支援する。</p> <p>3 困難や不安を抱える女性等への支援</p> <p>(1) 女性のつながりサポート事業          就業に関する困難や家庭内の問題等により孤独を感じ、社会的に孤立し不安を抱えている女性、必要な支援が届いていない女性に対し、居場所の提供、生理用品の提供と併せて相談窓口案内の配布を行うことで、必要な行政等の支援につなげ、社会とのつながりを回復できるようにする。居場所の提供団体を対象とした事例発表会・研修会では、好事例の横展開と協力団体同士のつながりづくり等の機会とするほか、人材の育成を図り、困難を抱える女性に対する支援の質を高める。</p> <p>(2) 男性相談等事業          専門相談として、仕事や家庭、介護等に係る悩みや、孤独、孤立、DV、経済的困窮など周囲に理解されにくい悩みを抱える男性を対象に、男性の臨床心理士・公認心理師による相談を予約制で実施。必要に応じて離婚に伴う親権、養育費の相談をはじめ、借金に関する相談など、弁護士による法律相談を実施する。</p>

5. 事業の効果

事業全体を通して、働く場における女性の活躍推進に向け、女性の継続就労および管理職・役員へのキャリアアップへの意識改革や多様な働き方の実現に向けた支援、困難や不安を抱える方への寄り添い支援を行うことができた。

働く場における女性活躍推進事業でのシンポジウムやセミナーについて、参加者の満足度は高く、ダイバーシティや女性管理職の悩み、女性自身のキャリアアップ等へ関心に対応する内容の事業を開催できた。特に経営者層向けの事業については、企業におけるダイバーシティ経営について新たな視点を得たという意見が多かった。

北の近江・女性活躍加速化事業では、講座に動画を取り入れることにより、より多くの企業担当者や女性、その家族に税・社会保障制度について理解を深めてもらうことにつながった。

しがの農業「女性活躍」応援事業では、参加者の満足度が9割以上となり、自身の価値観や今後の方向性についてのイメージを持つことができたという声があった。

北の近江・女性IT基礎スキル向上事業では、ワードやエクセルなどの操作の基礎から、デザインソフトの基礎までを学ぶことができ、しばらくパソコンから遠ざかっていた方にも自信につながるような学びがあった、という意見が多かった。

女性の起業トータルサポート事業では、女性起業者のトータルコーディネートを行い、各セミナーから個別の相談へと繋がる機会が増えたことで総合的伴奏支援がさらに整い、新規起業および事業継続が図られた。

女性のつながりサポート事業では、交流会の開催により、各団体の継続的な後押しになったほか、支援の質の向上に効果があったと考えられる。

男性相談等事業では、男性の望まない孤独・孤立、生きづらさや経済的困窮等の悩みに対し、相談による支援を行うことができた。

5-2. 効果検証の概要

参加者数、セミナー/交流会の事後アンケートにおける「気づきがあった」など肯定的意見の割合、講座受講後、さらなるスキルアップや就労相談、就業、業務受注など、就労への一歩をふみ出した人の人数など

6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	(1) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
		女性活躍推進認証企業数(二つ星以上)	(アウトカム)	160社	(R7)	163社	(R8.3)
		評価	評価の理由、事情等				
		1.達成(予定含む)	働く場における取組等により、目標値以上の企業を認証することができたため。				
(2) 事業KPI	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)		
	-	( )	-	( )	-	( )	
	評価	評価の理由、事情等					

7. 今後の課題

女性が家事や育児を主に担うべきという職場や家庭、地域での意識がまだ残っていることから、引き続き、女性が仕事と家事や育児等の負担を抱えこまずに働きやすい環境を整えていく必要がある。

講座等の開催にあたっては、対象者や開催地域が限定的にならないよう、事業のテーマ設定や内容の充実、開催場所の選定、適切な周知が必要である。

女性のつながりサポート事業では、支援者同士の横のつながりを強化し、困難な状況に置かれた女性への支援体制を強化する必要がある。

相談事業については、悩みを持つ人が、より専門相談にアクセスできるように広く周知・啓発を行っていく必要がある。

8. 事業の実施体制(連携の状況)

連携体制: 仕事と生活の調和・女性活躍推進会議しが  
 状況: 各事業実施に際し、各団体の会員等への周知、広報について連携して行い、県内企業等への女性の活躍推進の気運醸成を図ることができた。

9. 経費の内訳 (単位:円)

事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考
1-1	働く場における女性活躍推進事業	2(1)	7年度当初予算	6年度補正予算	615,615	307,000		308,615	
1-2	北の近江・女性活躍加速化事業	2(1)	7年度当初予算	6年度補正予算	910,230	455,000		455,230	
1-3	しがの農業「女性活躍」応援事業	2(1)	7年度当初予算	6年度補正予算	1,402,140	701,000		701,140	
1-4	北の近江・女性IT基礎スキル向上事業	2(2)	7年度当初予算	6年度補正予算	1,125,805	563,000		562,805	
2-1	女性の起業トータルサポート事業	4(2)	7年度当初予算	6年度補正予算	6,931,962	5,198,000		1,733,962	
3-1	女性のつながりサポート事業	5(1)	7年度当初予算	6年度補正予算	6,912,000	3,456,000	0	3,456,000	
4-1	男性相談等事業	7(1)	7年度当初予算	6年度補正予算	751,390	375,000		376,390	
	合計				18,649,142	11,055,000	0	7,594,142	